

(別冊 1) 平成 28 年度関東 SPM 調査会議の調査内容等に係るアンケート集計結果

1 ガス状成分の分析について

平成 29 年度以降の方針について

データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	環境省マニュアル(平成 28 年 4 月)に準拠した方法を検討し、統一した方法で実施する。	その他
9	2	6

<主な意見(その他)>

- ・ 手法はマニュアルに準拠して行うべきと思います。全硝酸などを知ることができるので、実施希望自治体があるうちは、事業として終了する必要は無いように思います。(埼玉県)
- ・ 現状では調査地点数が少なすぎるので、解析対象から除外する。なお、調査地点数と調査エリアの問題をクリアできるのであれば、分析方法を環境省マニュアルに準拠した方法に統一して実施する。(千葉県)

(別冊2)平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧(第2回)

自治体名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	その他	その他
	上記の理由・コメント	4, 5年前から傾向が大きく変わっておらず、新たな知見がほとんど得られないため、継続する必要性が低いと考えます。	過去4年間に於いて、ガス状成分の分析結果と常時監視測定結果に対して有意な相関が観測されておらず、地域差についてのみの議論であれば既報の内容で完結していると考えます。	実施する場合、環境省マニュアルに準拠した方法は現状では対応出来ない。	手法はマニュアルに準拠して行うべきだと思います。全硝酸などを知ることができるので、実施希望自治体があるうちは、事業として終了する必要は無いように思います。	現状では調査地点数が少なすぎるので、解析対象から除外する。なお、調査地点数と調査エリアの問題をクリアできるのであれば、分析方法を環境省マニュアルに準拠した方法に統一して実施する。
関東SPM調査会議 講演会について	希望する講演内容				・発生源調査について、昨年度は日環センターに調査方法や調査の実際についてお話いただきましたが、続編として、東京都による以前の調査結果のおさらいや課題、千葉県や埼玉県が実施している調査の紹介等により、意見交換するのによいのではないかと思います。 ・発生源寄与解析手法や解析事例などについての最近の知見(具体的内容にもよりますが、高崎経済大飯島氏、名古屋市 池盛氏・兵庫県 中坪氏、日環セ 岩本氏) ・二次有機エアロゾルの最近の研究として、今後、排出量を含めた実態把握を進める必要があるBVOC関連や、光化学大気汚染との関連について取り上げてもよいと思います。	・PSCF法を用いた発生源解析
	希望する講師					名古屋市環境科学研究所 山神真紀子 氏 兵庫県環境研究センター 中坪良平 氏

(別冊2)平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧(第2回)

自治体名		東京都	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針	その他	環境省マニュアル(平成28年4月)に準拠した方法を検討し、統一した方法で実施する。	環境省マニュアル(平成28年4月)に準拠した方法を検討し、統一した方法で実施する。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。
	上記の理由・コメント	「現在の方法では、意味の無い調査なのか」、「より意味のある調査へ変更していくべきか」、もう少し、皆さんの議論やご意見を踏まえてから、判断したいと思います。	ただし、実施可能な自治体が実施			これまでの調査結果から、4段FP法で得られる情報は概ね把握できており、引き続き調査を継続しても、新規な知見が得られる期待がほとんどない。
関東SPM調査会議 講演会について	希望する講演内容					・成分分析結果に関する最新の評価解析手法
	希望する講師					

(別冊2)平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧(第2回)

自治体名		さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	相模原市
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	その他	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。	データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。
	上記の理由・コメント		今年度から範囲の広がった、他の解析により力を入れることが望ましい。	本市はガス状成分の分析を行っていないが、調査会の事業として、ガス状成分を扱うのであれば、環境省マニュアルに準拠した方法で実施すべきと考える。	・解析の方針が四季の平均的な解析を主とするものになったことから、現状夏季コア期間のデータのみであるガス状成分の分析は終了しても良いと考えます。ただし、今年度の解析結果をもって、あらためて判断するのも一案と考えます。	
関東SPM調査会議 講演会について	希望する講演内容			・「SPRINTARS」を運営している九州大学応用力学研究所の研究者にPM2.5の予測・再現システムについて講演依頼する。 ・沿岸部の工業地帯と内陸部におけるPM2.5の挙動の違いに詳しい研究者に講演依頼する。		・環境省にて実施している「微小粒子状物質(PM2.5)発生源寄与割合推計に関する検討業務」において、検討により得られた知見等の情報提供
	希望する講師					

(別冊2)平成28年度 浮遊粒子状物質調査会議の調査内容等に係るアンケート結果一覧(第2回)

自治体名		静岡市	浜松市
ガス状成分の分析について	平成29年度以降の方針	その他	その他
	上記の理由・コメント	本市では本分析を行っていないため、本分析を行っている自治体の負担や考えを尊重して、継続か否かを検討した方がよいと考える。	当市ではガス状成分の分析を行っていないため、分析を行っている自治体の判断に従います。
関東SPM調査会議 講演会について	希望する講演内容		
	希望する講師		

(別冊3) 平成28年度 関東SPM調査会議の調査内容等に係るアンケート調査票【第2回】

第2回調査会議で議論すべき事項について、各自治体へ照会いたします。

該当するものについて☑をする等し、該当するものがない場合は、自由欄にご記入ください。

また、回答は行政・研究側相談の上、自治体単位でお願いいたします。

自治体名 _____

1. ガス状成分の分析について

平成29年度以降の方針についてご意見を伺います。理由またはコメントがありましたら、自由記載欄にご記入ください。なお、継続する場合は、従前どおり実施可能な自治体のみ実施することを想定しています。

- ☐ データ提供対象及び解析対象から除外し、調査会の事業としては終了とする。
- ☐ 環境省マニュアル（平成28年4月）に準拠した方法を検討し、統一した方法で実施する。
- ☐ その他 （具体的に下欄へ記入）

2. 関東SPM調査会議 講演会について

1) 取り上げることが望ましい講演内容がありましたら、御記入ください。

2) 講演を依頼するに当たり、推薦できる講師がおりましたら、御記入ください。

所属	氏名

以上、お忙しい中ご協力の程、ありがとうございました。